科目名 Subject	日本語総合Ｄ General JapaneseD		教員名	日本語ﾁｰﾑ	
開講年次	1	開講時期	前期	単位	1
必修／選択	選必	授業形態	演習	時間	30
実践的教育	×				
主な学習効果	知識・技能	思考力・判断力	表現力	主体的行動力	ホスピタリティ・コミュニケーション力
	○	○	◎	◎	◎
科目の概要	専門科目や実技の授業を受けたり学校の行事に参加したり、時には学校の行事の中心となって参画したりする以外に学生間の情報交換のためのコミュニケーション手段となる日本語能力である聞くことができる。話すことができる。、読むことができる。書くことができる。この４つの技能を日本語総合A・C.Dの授業と関連して同じ教科書を使用し、精読・文法表現・関連表現とスキル・応用話す・書くをといった技能を総合的に学習することができる。				
授業の目標	日本語学校などでの日本語予備教育で得た知識やスキルをさらに発展させ、日本人のクラスに入っても積極的に参画するできる日本語力を習得する。特にこの日本語総合Cでは日本語総合A・B・Cで学習したことを復習し発展させ、応用練習をし、学習をより完全なものにして、話すことができる。書くこともできる。				
時間外学習 （予習・復習）	授業の前には90分から120分はかけて語彙の意味、表現の使い方などを予習して、授業中に意味調べなどはせず、講義に集中できるようにしておくこと。授業後も同等の時間をかけて理解を定着させるために復習をすること。特に、日本語能力試験Ｎ２、Ｎ１を受験しようと考えている学生は、この範囲が試験によく出る問題であることを念頭に入れて勉強すること				
教科書・教材	教科書	学ぼう日本語　専門教育出版			
	教材	聴解CD			
	使用設備・備品	パソコン			
	参考文献				
評価方法	平常時の提出分の内容と回数で40%、期末試験で50%、普段の努力度で10%の割合で80以上はA,70から79まではB,60から69はC、それ以下はDで不可です。				
	なお、出席数が不足の場合は評価対象とはしません。				
学生へのフィードバックの方法	個別に実地指導を行います。				
履修上の注意	日本語総合A・B・Cで勉強したことをしっかり覚えてきてください。ケータイ等の使用は厳禁とします。				
本科目履修と関連する資格	資格名	なし			

授業計画			
	授業内容	到達目標	予習・復習・備考
第１回	第一課　メールや電話で依頼ができる「復習と関連表現」	いろいろな依頼の表現の確認理解しその意味やニュアンスの違いがわかり、使うことができる	オリエンテーションを行うが特に予習に90分、復習にも90分以上かけること
第２回	第二課　きちんと理由を言って許可を求める「復習と関連表現」	いろいろな理由の表現の違いの理解とその意味、使い方がわかり、使うことができる	第一回でオリエンテーションをする。特に予習90分、復習にも同等の90分以上かけること。
第３回	第三課　お礼や感謝の気持ちを伝える「復習と関連表現」	お礼や感謝の度合でそれぞれ違いがあることがわかり、使うことができる	予習　第二課の本文を読み、語彙・表現の意味確認をする。復習でも本文を読み新出の語彙の意味を確認すること
第４回	第四課　理由を言って上手に断る「復習と関連表現」	上手な断り方、相手と問題になる断り表現の理解とその使い分けするができる	予習　第三課の本文を読み、語彙・表現の意味確認をする。復習でも本文を読み新出の語彙の意味を確認すること
第５回	第五課　情報の整理とその説明「復習と関連表現」	比較、条件な文などを使って情報の整理とそれを説明することができる	予習　第四課課の本文を読み、語彙・表現の意味確認をする。復習でも本文を読み新出の語彙の意味を確認すること
第６回	第六課　今の状況、状態を説明する「復習と関連表現」	状況や状態を分かりやすく伝えることができる	予習　第五課の本文を読み、語彙・表現の意味確認をする。復習でも本文を読み新出の語彙の意味を確認すること
第７回	第七課　聞いた話を正確に伝える「復習と関連表現」	上手な伝聞とへたな伝聞の違いがわかり、上手に伝聞することができる	予習　第六課の本文を読み、語彙・表現の意味確認をする。復習でも本文を読み新出の語彙の意味を確認すること
第８回	第八課　内容や事情を説明しながら勧めたり誘ったりする「復習と関連表現」	何かどうしてなど、内容を説明して勧めたり誘うことができる	予習　第七課の本文を読み、語彙・表現の意味確認をする。復習でも本文を読み新出の語彙の意味を確認すること
第９回	第九課　自然に会話を進める「復習と関連表現」	人物について「どんな人」を説明したり、表現することができる	予習　第八課の本文を読み、語彙・表現の意味確認をする。復習でも本文を読み新出の語彙の意味を確認すること
第１０回	第十課　人物の描写・説明ができる「復習と関連表現」	必要な情報の整理と不要な情報の区別しその理解することができる	予習　第九課の本文を読み、語彙・表現の意味確認をする。復習でも本文を読み新出の語彙の意味を確認すること
第１１回	第十一課　必要な情報の的確は理解「復習と関連表現」	相手に聞いてもらえる意見、助言の表現の取得とそれを実際にすることができる	予習　第十課の本文を読み、語彙・表現の意味確認をする。復習でも本文を読み新出の語彙の意味を確認すること
第１２回	第十二課　自分の立場から意見を言う「復習と関連表現」	相手の立場、問題の理解と整理ができ、その上に立ってアドバスすることができる	予習　第十一課の本文を読み、語彙・表現の意味確認をする。復習でも本文を読み新出の語彙の意味を確認すること
第１３回	第十三課　立場を考えて価値を説明する「復習と関連表現」	変更、変化をその理由と共に理解し相手に伝えることができる	予習　第十二課の本文を読み、語彙・表現の意味確認をする。復習でも本文を読み新出の語彙の意味を確認すること
第１４回	第十四課　問題にたいしてアドバイスができる「復習と関連表現」	判断、評価を明確にしそれを相手に納得させることができる	予習　第十三課の本文を読み、語彙・表現の意味確認をする。復習でも本文を読み新出の語彙の意味を確認すること
第１５回	15回の総まとめと試験対策	前期の総まとめと総復習	予習　第十四課の本文を読み、語彙・表現の意味確認をする。復習でも本文を読み新出の語彙の意味を確認すること